国際ガラス年 2022

International Year of Glass 2022 (IYOG2022)

事業報告書

目次

頁

1. 国際ガラス年 2022 の目的 2

2. 国際ガラス年日本実行委員会 活動方針および運営方針 2

3. 国際ガラス年日本実行委員会 概要、委員名簿 4

4. 国際ガラス年日本実行委員会 実施事業

4-1. 主催、共催、後援、協賛イベント 7

4-2. 文部科学省科学技術週間 学習資料「一家に１枚」 16

4-3. 出版 17

4-4. ホームページ 18

5. 国際ガラス年日本実行委員会 収支報告 19

6. 国際ガラス年日本実行委員会 主催事業 事業報告および収支報告

6-1. 国際ガラス年 2022 日本オープニングセレモニー 20

6-2. 国際ガラス年 2022 「ガラスの無い世界・ある世界」静止画および動画コンテスト 24

6-3. 国際ガラス年 2022 国際閉会式 27

7. 国際ガラス年日本実行委員会 スポンサー一覧 34

8. 国際ガラス年 2022 賛同者一覧 35

１．国際ガラス年 2022 の目的

- ガラス材料およびガラス産業の，過去，現在，未来を称え祝福すること。
- ガラスの科学と芸術と文化に関わる世界の様々なイベントに取り組むこと。
- 産学のガラス研究，ガラスに関わる博物館や美術館の取り組みにより，世界のあらゆる地域における持続性のある発展に貢献すること。
- 若い世代のための科学や工学、ジェンダーの平等、発展途上国要求に対する取り組みを支援する国際的な協調の枠組みを構築すること。

国際ガラス年で取り組む国際的な活動については、ホームページ（https://iyog2022.org/）で紹介されている。

国際ガラス年２０２２のロゴマーク

２．国際ガラス年日本実行委員会　活動方針および運営方針

活動方針

国際ガラス年日本実行委員会は、多くのガラス関係者の努力の末に国連での採択に至った 2022 年の国際ガラス年という特別な機会を大切にして、国際 IYOG 委員会および、国内の産、官、学、工芸団体などガラスの科学、技術、造形に関わる方々との連携を緊密に取りながら、日本の多くの皆さんに、ガラスの多様性、面白さ、美しさ、および未来社会への可能性を学び、楽しむ機会を提供することを目的として活動する。とりわけ、これまでに必ずしも一般の方々に広く認識されていなかった「ガラス」の普遍性と重要性、SDGs への貢献、将来の技術を支える材料としての機能への理解と認識を高めていただくことを重視する。

国際ガラス年日本実行委員会では以下の様々な活動を通じてその目的を達成する。

- ガラスの役割や機能を一般の方々に広く認識いただく広報活動
- ガラス科学・アートのフェスティバルやワークショップなど一般の方々を対象としたアウトリーチ活動

- 将来の社会を担う学生、若手研究者のガラスに対する意識の高揚および育成
- 持続可能な社会へのプラットフォームとしてのガラスの役割の推進
- ガラスとアモルファス材料に焦点を当てた材料科学と工学の学際的な基礎研究と応用研究の促進
- ガラスの基礎研究、工学、芸術的応用に関わる専門的な組織、研究機関、大学、産業、博物館、政府機関、その他の関係者間の関係活性化
- 日本国内での国際ガラス年の開催を祝う Opening Ceremony および、全世界の国際ガラス年関係者と国際ガラス年の成功を祝う Closing Ceremony の開催

国際ガラス年日本実行委員会のロゴマーク

運営方針

各分科会の関わるイベントにおいては、HP やチラシなどの機会を活用してロゴを掲載使用して頂く。実行委員会は、各イベント参加者に配布の為、広報委員会で準備したハガキ、マップを参加者規模に応じて提供する。

またイベント主催者は予算案を含めた計画書を提出頂き、事務局は内容審査の上、実行委員会の予算範囲内で活動内容に応じた補助金を支給する。

学協会クラスタに関わる IYOG 協賛講演会における招待講演者への謝礼は日本セラミックス協会の基準に従う。交通費は協賛学会による負担を原則とするが、補助金からの支出が妥当でかつ計画書の予算範囲内であれば、交通費の支給を妨げない。

学協会誌の特集号の出版に関わる費用については別途、実行委員会執行部で支出の判断をする。

アウトリーチクラスタの啓蒙活動に関しては、提出の計画書につき事務局の審査を受けた上で活動内容に応じた予算補助をする。

3. 国際ガラス年日本実行委員会 概要、委員名簿

設立趣意：

2020 年 12 月の国連総会において，2022 年国際ガラス年が宣言されようとしている。ガラスは，私たちの日々の生活に欠かすことのできない材料であるとともに，その様々な特徴的な性質から，2030 年に向けた持続可能な開発目標を達成するためにも重要な役割を果たす材料である。さらにガラスは，その美しさゆえに多くの芸術家の想像を具現化してきた素材でもある。国連が決議する国際ガラス年を契機に，このようなガラスの価値を科学と芸術の垣根を越えて日本中で共有し，次世代に継承し発展させていくことを目的として，ここに「国際ガラス年日本実行委員会」を設立したい。

（2020．12．9　国際ガラス年日本実行委員会設立提案書より）

名称：　国際ガラス年日本実行委員会

設置場所：　公益社団法人日本セラミックス協会内

委員名簿：

・実行委員長：　田部勢津久
・実行副委員長：井上博之
・事務局長：　吉田智

・実行委員：	矢野哲司	林晃敏	藤野茂	山崎博樹
	本間剛	大幸裕介		
	忠永清治	増野敦信	藤原巧	曽我公平
	梶原浩一	松田厚範	河村剛	袋布昌幹
	大槻主税	早川知克	徳田陽明	藤田晃司
	高橋雅英	難波徳郎	武部博倫	小野円佳
	赤井智子	小原真司	瀬川浩代	稲野浩行
	前田敬	土田ルリ子	巾崎潤子	斉藤靖弘
	松野好洋			
アドバイザー：	平尾一之	小松高行	辰巳砂昌弘	安盛敦雄
	中西和樹	春日敏宏	田中勝久	幸塚広光
	松岡純	中尾泰昌	清家剛	

特別顧問：　公益社団法人日本セラミックス協会会長　黒田一幸

分科会員:	和田憲幸	小島有香子	吉原聡	高橋儀宏
	岸哲生	篠崎健二	上田純平	松下佳雅
	村田貴広	山崎芳樹	内山堅慈	岡亮平
	長谷川智晴	栗村直	片山郁文	平野琢也
	西悦子	本郷仁	紅野安彦	川下将一
	上高原理暢	早川聡	宮崎敏樹	李誠鎬
	鳴滝彩絵	中村仁	正井博和	小野寺陽平
	尾原幸治	作田敦	菅原透	中川浩司
	木崎和郎			

分科会構成：

クラスタ名	分科会名
―	Closing ceremony 分科会
アウトリーチクラスタ	Opening 企画分科会
	全国ガラス体験・実験・見学分科会
	理科教室分科会
	理・芸・地域社会融合分科会
	異業種連携分科会
	ガラスマップ分科会
	広報分科会
-	造形関連分科会
日本セラミックス協会イベントクラスタ	第 53 回夏季若手セミナー分科会
	2022 年年会および秋季シンポジウム分科会
学協会イベントクラスタ	学会連携イベント分科会
	放射性廃棄物固化関連事業分科会
	応用物理学会関連分科会
	環境材料関連事業分科会
	ゾルゲル法関連事業分科会
	生体材料関連事業分科会
	非晶質構造解析関連事業分科会
	電池材料関連事業分科会
―	企業対応関連

分科会担当者一覧：

	クラスタとりまとめ	分科会名　担当実行委員・分科会員
Closing ceremony分科会	井上博之	Closing ceremony 分科会（分科会長：井上博之），梶原浩一，藤野茂，瀬川浩代、巾崎潤子、木崎和郎
アウトリーチクラスタ	忠永清治	Opening企画分科会（分科会長：忠永清治）
		全国ガラス体験・実験・見学分科会（分科会会長：袋布昌幹）、和田憲幸、小島有香子、NEG吉原、忠永清治
		理科教室分科会（分科会会長：矢野哲司）
		理・芸・地域社会融合分科会（分科会長：山崎博樹）　忠永清治、曽我公平、袋布昌幹
		異業種連携分科会（分科会長：早川知克）
		ガラスマップ分科会（分科会会長：小野円佳）高橋儀宏、岸哲生、篠崎健二、上田純平、NEG松下佳雅、村田貴広、AGC山崎芳樹、NSG内山堅慈、岡亮平、長谷川智晴、栗村直、片山郁文、平野琢也
		広報分科会（分科会会長：東京理科大　前田敬），徳田陽明，吉田智、袋布昌幹、忠永清治、上田純平
造形関連分科会	土田ルリ子	造形関連分科会（分科会会長：富山市ガラス美術館副館長土田ルリ子）、西悦子、本郷仁、稲野浩行、山崎博樹、中川浩司
日本セラミックス協会イベントクラスタ	武部博倫	第53回夏季若手セミナー分科会　（分科会会長：河村剛）
		2022年年会および秋季シンポジウム分科会（分科会会長：武部博倫）
学協会イベントクラスタ		学会連携イベント分科会（分科会長：曽我公平），武部博倫，藤田晃司
		放射性廃棄物固化関連事業分科会（分科会会長：増野敦信）、菅原透
		応用物理学会関連分科会（分科会長：早川知克），藤原巧
		環境材料関連事業分科会（分科会会長：難波徳郎），赤井智子、紅野安彦
		ゾルゲル法関連事業分科会（分科会会長：高橋雅英），松田厚範
		生体材料関連事業分科会（分科会長：大槻主税）、川下将一、上高原理暢、早川聡、宮崎敏樹、李誠鎬、鳴滝彩絵、中村仁
		非晶質構造解析関連事業分科会（分科会会長：小原真司），正井博和，小野寺陽平、尾原幸治
		電池材料関連事業分科会（分科会会長：林晃敏）　本間剛、大幸裕介、作田敦
	松野好洋	NGF松野好洋、NSG斉藤靖弘

執行部	田部勢津久、井上博之、矢野哲司、林晃敏、藤野茂、山崎博樹、吉田智、本間剛、大幸裕介、清水雅弘

4. 国際ガラス年日本実行委員会 実施事業

4-1. 主催、共催、後援、協賛イベント

日付	学会等イベント名	主催	開催地	講演者所属	講演者氏名	講演タイトル
2021/8/26-27	第52回ガラス部会夏季若手セミナー	日本セラミックス協会ガラス部会	オンライン	秋田大学	菅原 透	ガラス融液の高温物性測定
				北海道大学/ＡＧＣ株式会社	小野 円佳	構造制御による無機ガラスの高機能化
				日本電気硝子株式会社	山崎博樹	ガラスの無限の可能性
				ＡＧＣ株式会社	吉田智	ガラスの変形と破壊 －なぜガラスは割れるのか？－
				長岡技術科学大学	本間 剛	遷移金属酸化物を主成分とするガラスの物性と機能性
				岡山大学	大林 一平	パーシステントホモロジーによるデータ解析の基本と材料科学への応用
				弘前大学	増野 敦信	無容器浮遊法が広げるガラスの科学
2021/9/28-10/3	日本ガラス工芸協会50周年記念 '21 日本のガラス展	日本ガラス工芸協会	代官山ヒルサイドテラス 山陽小野田市文化会館 姫路市書写の里・美術工芸館 石川県能登島ガラス美術館			
2021/10/23-11/7	ナガハマグラスフェス2021	ナガハマグラスフェス実行委員会	慶雲館・黒壁スクエア・中心市街地一帯			
2021/11/8-9	第62回ガラスおよびフォトニクス材料討論会 併催 第17回ガラス技術シンポジウム（GIC17）	日本セラミックス協会ガラス部会	オンライン	京都大学	田部勢津久	国際ガラス年2022：背景と国連採択に至る経緯
				AGC株式会社	吉田智	国際ガラス年2022：日本実行委員会の組織と企画のご紹介
				北海道大学	忠永清治	国際ガラス年2022実行委員会のご紹介
				東京理科大学	前田敬	
2021/11/30	第43回バイオマテリアル学会大会 International Year of Glass 2022, Commemorative Symposium "Biomaterials and Glass Science"	日本バイオマリアル学会	名古屋国際会議場	Nagoya Institute of Technology	Yusuke Daiko	Ion Emission from Sharpened Ion-conducting Glasses and Direct Ion Irradiation to Living Cells
				Tohoku University	Kyosuke Ueda	Functionalization of The Dissolution of Amorphous Calcium Phosphate Coatings
				McGill University, Canada	William Lepry	An Overview of Bioactive, Sol-gel Borate Glasses
				Imperial College London, UK	Julian R. Jones	Bouncy Bioglass for Cartilage and Bone Regeneration
2021/11/6	富山ガラス造形研究所創立30周年記念展 関連プログラム	富山市ガラス美術館	富山市ガラス美術館		塚田美登里	本展出品作家によるアーティストトーク
2021/12/18-2022/6/22	「きらめく✧つやめく✧ときめきのガラス」展	黄金崎クリスタルパーク ガラスミュージアム	黄金崎クリスタルパーク ガラスミュージアム企画展示室			
2021/12/18-2022/5/15	コレクション展 ヴェネチアン・グラスと現代の作家たち	富山市ガラス美術館	富山市ガラス美術館			
2022/1/9	第35回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム 企画講演6『放射光を用いたガラス研究の最前線と未来』	シンポジウム実行委員会	東京大学本郷キャンパス	東京大学	山室修	単純分子ガラスの構造とダイナミクス
				北海道大学／AGC	小野円佳	高温高圧処理を施したシリカガラスのX線回折
				大阪府立大学	作田敦	遷移金属硫化物ガラス正極材料の充放電メカニズム
				東京大学	脇原徹	非周期系原料の結晶化を制御したゼオライト開発
				岐阜大学	志賀元紀	理論・実験・情報科学の融合によるガラスの構造秩序解析
2022/1/17	第3回 放射性廃棄物固化体討論会	日本セラミックス協会ガラス部会放射性廃棄物分科会	オンライン（Zoom）	元 日本電気硝子	山本 茂	ガラス産業技術者から見たガラス固化 －溶融プロセスを中心に－
2022/1/25-2022/2/6	ボヘミアン・グラス ザ・ベスト	町田市立国際版画美術館	町田市立国際版画美術館			
2022/1/28	第32回フォトニクスミーティング	日本セラミックス協会ガラス部会フォトニクス分科会	オンライン	三菱電機(株)	柳澤隆行	Er,Yb共添加リン酸ガラスを用いたアイセーフレーザ装置の開発-風計測ライダ用レーザの高平均出力化実現に向けて-
2022/1/28	国際ガラス年２０２２オープニングセレモニー・講演会	国際ガラス年日本実行委員会	オンライン （別紙 登壇者リスト）	東京大学	井上博之	ガラスの概論
				AGC株式会社	小池章夫	現代生活を支える身の回りのガラス
				九州大学	井上朝雄	建築材料としてのガラス
				富山市ガラス美術館	畠山耕造	日本の現代ガラス：ガラスの造形分野におけるこれまでの歴史
				日本ガラスびん協会SDGs推進WG・日本山[illegible]辻良太		ガラスびんSDGsの取組みについて
				三田市ガラス工芸館		パラオ共和国 ベラウ・エコ・グラスセンターにおける資源循環型社会への取り組みと観光産業の推進
				東京工業大学大学院・博士課程	富田夏奈	ICGサマースクール（オンライン）参加報告
2022/1/29	第1回 イスタんルーム	NPO法人科学芸術学際研究所 ISTA （イスタ）	オンライン		谷綾子	英国バイレックス産業の歩みと現代ガラスアート－ガラス作家の視点から

2022/2/9-15	日本ガラス工芸協会50周年記念 『表現するガラス』展	日本ガラス工芸協会	横浜高島屋 7F 美術画廊			
2022/2/18	2021年度ガラス表面・分析研究討論会	日本セラミックス協会ガラス部会表面・分析分科会	オンライン	ユーロフィンイーエージー株式会社	大渕 真澄	物理分析によるガラス・セラミックス材料の深さ方向分析
				AGC株式会社	菅野 直樹	湿式分析技術とLA-ICP-MSを活用したガラスの深さ方向分析
				株式会社東レリサーチセンター	大田 哲郎	イオンビーム分析技術と分析事例の紹介
				東北大学大学院	寺門 信明	化学強化ガラスにおける応力分布の局所評価技術の開発－顕微ラマン分光の利用と定式化－
2022/2/23	西伊豆町・ガラス製品のお悩み相談会「ガラスの町のお医者さん」	黄金崎クリスタルパーク ガラスミュージアム	黄金崎クリスタルパーク			
2022/3/7	GIC国際ガラス年2022記念「地球環境」をテーマにしたweb講演会	ガラス産業連合会 環境技術部会	オンライン	国立研究開発法人 国立環境研究所	塩竈 秀夫	過去と未来の温暖化と極端気象現象
				株式会社テクノバ	丸田 昭輝	世界の水素展開とガラス産業への適用性の可能性
				産業技術総合研究所	高木 英行	メタネーション技術に関する動向と産業技術総合研究所での取り組み
2022/3/9-14	第15回 ガラス教育機関合同作品展	GEN (Glass Educational Network)	東京都美術館 地下ギャラリー A・B			
2022/3/10-15	十人十色・ガラス展	イートーテン	横浜赤レンガ倉庫1号館 2Fスペース A.B.C			
2022/3/12-2022/6/26	カースティ・レイ：静けさの地平	富山市ガラス美術館	富山市ガラス美術館		カースティ・レイ	記念講演会
2022/3/11	日本セラミックス協会2022年年会International Year of Glass 国際ガラス年2022 年会特別講演会	日本セラミックス協会ガラス部会	オンライン	元日本セラミックス協会会長 （日本電気硝子株式会社 取締役会長）	有岡 雅行	「人類の進歩とガラス」～神は黒曜石を造り、人はガラスを作った～
				ガラス産業連合会（GIC）会長 日本山村硝子株式会社 代表取締役 社長執行役員	山村幸治	ガラス産業発展の歴史と社会における役割
2022/3/18	日本原子力学会2022年春の年会	日本原子力学会	オンライン	日本原燃	太田 祐希	日本原燃におけるガラス固化技術開発の現状と展望
				IHI	多田 晴香	IHIにおけるガラス固化技術開発の現状と展望
				秋田大学	菅原 透	ガラス溶融炉におけるモリブデンの反応挙動
2022/3/19-2023/3/26	2022年特別展「翼に希望をのせて、ガレ、ドーム、ラリック ガラス工芸にみるジャポニスムの鳥」	公益財団法人 北澤美術館	北澤美術館			
2022/3/19	日本物理学会第77回年次大会（2022年）【2022年国際ガラス年記念シンポジウム】ガラス転移はどこまでわかったのか？ ～ガラス研究の最先端と普遍性～	日本物理学会	オンライン	東京大学	田中肇	過冷却液体の遅いダイナミクスの構造的起源
				東京大学	山室修	ガラスの局所構造と低エネルギー励起 －実験の立場から－
				東京大学	池田昌司	ガラス系の弾性・振動・緩和
				NIMS	小原真司	量子ビーム回折でガラスを見る
				阪大CMC	吉野元	深層ニューラルネットワークの統計力学におけるガラスの物理
				大阪大学	桂木洋光	粉体内の巨視的応力分布のガラス的不規則構造
				東京大学	堀田知佐	固体結晶中の電荷やスピンの量子グラス
				東京大学	竹内一将	高密度バクテリア集団のガラス転移
2022/3/22	第69回応用物理学会春季講演会16 非晶質・微結晶	応用物理学会	ハイブリッド開催（青山学院大学 相模原キャンパス，オンライン）	京都大学	田部勢津久	国際ガラス年2022：国連採択経緯と実行委員会の活動計画
				菅原工芸硝子	菅原 裕輔	SDGs時代にガラス工房から学術界に望むこと
				九州大学	藤野 茂	3D複雑形状を有するシリカガラスの光造形技術
				日本製鉄先端研	西藤 将之	日本製鉄におけるCCUS技術開発の取組み
2022/3/25	日本化学会春季年会 イノベーション共創プログラム	日本化学会	オンライン	AGC株式会社	杉本直樹	社会に貢献するガラス
				日本電気硝子株式会社	森 弘樹	ガラスの新しい可能性 ～超薄板ガラス～
				京都大学	堀毛 悟史	金属－有機構造体：MOFのガラス相の開拓
				株式会社住田光学ガラス	沢登 成人	希土類イオン含有ガラスの蛍光
				東京工業大学	矢野 哲司	国際ガラス年：進化し続けるガラス －新たな特性とアプリケーションの進展－
				日本板硝子株式会社	松田 瑞穂	ゾルゲル法によるガラス用抗菌・抗ウイルスコーティングの開発
				日本電信電話株式会社	来山 大祐	5G evolution & 6Gおけるミリ波/テラヘルツ波のカバレッジ改善に向けた透明伝搬制御デバイスの技術動向
				AGC株式会社	植村 健	ガラス外観シミュレーションシステムの開発
				滋賀県立大学	松岡純	ガラスはなぜ割れるのか： 原子レベルのメカニズムと強化方法
				京都大学	清水 雅弘	酸化物ガラス融液における温度勾配下の物質拡散の微視的・熱力学的解釈
				九州大学	藤野 茂	3D光造形技術による多様な形状を有する機能性透明シリカガラスの開発
				大阪府立大学	林 晃敏	全固体電池に向けたガラス電解質の進展

2022/4/4-12/20	国際ガラス年特別企画展「ガラスの正体」	AGC株式会社	AGC横浜テクニカルセンター			
2022/4/19	自由民主党　文部科学部会、科学技術・イノベーション戦略調査会　科学技術週間関連行事	自由民主党　文部科学部会	自由民主党本部			
2022/4/23	科学技術週間協賛行事「京都大学公開講座：ガラス～無限の可能性を秘めた古くて新しい材料～」	京都大学	京都大学吉田南キャンパス総合人間学部棟1102号室 & オンライン	京都大学	田部勢津久	国際ガラス年 2022を祝う活動の紹介
				京都大学	田中勝久	ガラス：固体でもあり液体でもある不思議な物質
				京都大学	村井俊介	京都大学での化学実験と講義の紹介 ～着色ガラスの作製とガラス構造のシミュレーション～
				京都大学	清水雅弘	
				東京理科大学	前田敬	ガラスの種類は無限大！
				京都大学	下間靖彦	ガラスのレーザー加工
				住友電工	大西正志	光ファイバはこんなにスゴイ ～技術開発の歴史から未来に向けて～
				日本電気硝子	山崎博樹	ガラスの材料設計と製品開発
2022/4/23	学習資料「一家に1枚」 ガラス ～人類と歩んできた万能材料～ 発行記念講演会	国際ガラス年日本実行委員会	オンライン	北海道大学	小野円佳	「一家に1枚」ガラス ～人類と歩んできた万能材料～ はどうやってつくられた？ 隠れた「ミカタ」も知ってガラスをもっと知ろう
				北陸先端科学技術大学院大学	上田純平	一家に1枚「ガラス ～人類と歩んできた万能材料～」特設サイトのご紹介
				物質・材料研究機構（NIMS）	瀬川浩代	NIMS一般公開2022「国際ガラス年記念展示」（4月24日）のご案内
				AGC株式会社	吉田智	国際ガラス年2022の活動のご紹介
2022/4/24	NIMS一般公開2022「非常識な『ミカタ』～材料の科学者はこう考えた～」	物質・材料研究機構	オンライン生配信 & 国立研究開発法人 物質・材料研究機構			
2022/5/24	日本ゾル－ゲル学会・第１９回セミナー「ゾル－ゲル法とガラス・非晶質材料 ～国際ガラス年2022～」	日本ゾル－ゲル学会	オンライン	東京都立大学	梶原 浩一	ゾル－ゲル法を用いた機能性ガラス合成
				大阪産業技術研究所	斉藤 誠	ケイ酸塩系無機バインダを用いた高性能Si負極の開発（仮題）
				National University of Singapore	SHAH KWOK WEI	Nanomaterials for Green Buildings Design and Construction in hot climate （暑熱地域における省エネビル向けナノ材料研究）
				北見工業大学	大野智也	電池材料を指向した液相法による機能性粒子へのコーティング
				物質・材料研究機構	樋口昌芳	メタロ超分子ポリマーを用いたエレクトロクロミックデバイス
2022/5/25-26	粉体粉末冶金協会2022年度春季大会（第129回講演大会） ガラス科学とバイオインスパイアード材料	粉体粉末冶金協会	オンライン	長岡技術科学大学	多賀谷 基博	規則性構造を特徴とするナノバイオ材料の創製
				東京医科歯科大学	宇尾 基弘	歯科材料におけるガラスの応用
				早稲田大学	下嶋 敦	自己組織化を利用したシロキサン系自己修復材料の創製
				広島大学	片桐 清文	コロイドプロセスを駆使して創るバイオインスパイアード構造発色性材料
				名古屋大学	大槻 主税	医用セラミックスに関する基礎研究とバイオインスパイアード材料開発への展開
2022/6/1-8/31	ガラスの無い世界ある世界 静止画および動画コンテスト	国際ガラス年日本実行委員会				
2022/6/10	第81回 固体イオニクス研究会 固体イオニクス分野におけるガラスの役割	日本固体イオニクス学会	北海道大学学術交流会館会議室およびオンライン開催	東北大学	河村純一	ガラスのイオン伝導研究の歴史と未来
				北海道大学	西井 準治	プロトン伝導リン酸塩ガラス
				京都大学	小野寺 陽平	量子ビーム実験と計算機シミュレーションによるイオン伝導性ガラスの構造解析
				名古屋工業大学	大幸裕介	イオン伝導性ガラスからの電界イオン放出
				日本電気硝子株式会社	山内英郎	全固体Naイオン二次電池の開発
2022/6/19-2022/7/31	企画陳列「地中から見つかった輝き ガラス展Vol. 1 髪飾り」	京都市考古資料館	京都市考古資料館１階 エントランス			
2022/6/25-2022/12/6	「静・涼・爽の趣き―青と緑の色ガラス」展 colors of glass works – blue & green	黄金崎クリスタルパーク	黄金崎クリスタルパーク ガラスミュージアム企画展示室			

2022/6/29	ニューセラミックス懇話会 バイオ関連セラミックス分科会 第６５回研究会	ニューセラミックス懇話会	大阪産業創造館　６階　会議室E（オンライン併用）	日本板硝子株式会社	松田　瑞穂	抗菌・抗ウイルスコーティングをはじめとするゾルーゲル法によるガラス用機能性コーティングの開発
				株式会社サーフテックトランスナショナル	鈴木 巧一	欧州のバイオ関連最新表面処理技術とその応用
2022/7/6	高等学校での出張講義	愛知県立丹羽高等学校	愛知県立丹羽高等学校	滋賀県立大学	松岡純	ガラスとセラミックスの科学　－国際ガラス年2022を記念して－
2022/7/14-15	日本ゾルーゲル学会　第20回討論会	日本ゾルーゲル学会	慶應義塾大学・日吉キャンパス	産業技術総合研究所	浦田　千尋	ゾルーゲル法を用いた機能表面材料の開発
				株式会社　KRI	中本　順子	薄膜およびシランカップリング剤処理層の構造解析方法
				AGC株式会社	森田　晋平	吸水性ウェットコートによる防曇ガラスの開発
				日本板硝子株式会社	神谷 和孝	抗菌、抗ウィルスガラスの開発
2022/7-2022/9/2	小樽グラスデザインコンテスト2022	小樽がらす市実行委員会				
2022/7/16-10/16	「コーニング・ガラス美術館共同企画　New Glass Now」	富山市ガラス美術館	富山市ガラス美術館			
2022/7/16	一般公開講座 「知られざる琉球ガラスの歴史」	豊見城歴史文化同好会	豊見城市社会福祉センター２階ホール	琉球ガラス製品史研究家	河西大地	知られざる琉球ガラスの歴史
2022/7/19-8/31	みんなのグラスデザイン画コンペティション2022（長浜）	ナガハマグラスフェス実行委員会				
2022/8/4	2022年度第1回ガラス科学技術・評価技術合同研究会「過去から未来へ ～ガラス技術の発展とカーボンニュートラルへの展望～」	ニューガラスフォーラム	オンライン	元東京理科大学 客員教授	伊藤 節郎	ガラス技術の変遷 ～ガラスの歴史を振り返って～
				株式会社日建設計総合研究所	丹羽 英治	ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）からカーボンニュートラルへ
				京都大学 化学研究所	坂本 雅典	発電する窓ガラスを目指して ～赤外光利用の科学と応用～
2022/8/5-6	滋賀県立大学・日本電気硝子共催：ガラスの体験教室	滋賀県立大学松岡研究室・日本電気硝子	滋賀県立大学			
2022/8/7-9/18	企画陳列「地中から見つかった輝き　ガラス展Vol. 2 食器」	京都市考古資料館	京都市考古資料館１階　エントランス			
2022/8/8	フュージングガラスの体験実験	富山高等専門学校 袋布研究室	富山高等専門学校本郷キャンパス	ガラス造形作家	小林洋行	
2022/8/10	第19回エコプレミアムクラブシンポジウム	ガラス再資源化協議会	オンライン			
2022/8/20-21	青少年のための科学の祭典大阪大会　サイエンス・フェスタ「面白いガラス」	ガラス産業連合会	大谷中学校・高等学校			
2022/8/27, 10/22	ガラスの科学・国際ガラス年2022	沼津工業高等専門学校 大川研究室	沼津工業高等専門学校			
2022/8/30-2023/2/25	企画展「光学ガラスの軌跡」	ニコンミュージアム	ニコンミュージアム			
2022/8/31	2022年度第1回 ニューガラスセミナー「光の活用・光の世界 － 情報・計測・センシング －」	ニューガラスフォーラム	オンライン	住友電気工業株式会社	櫃本 正	石英系光ファイバ 技術進化と将来展開
				東北大学大学院	寺門 信明	化学強化ガラスにおける新規応力評価法の開発
				奈良先端科学技術大学院大学	笹川 清隆	画素上偏光子搭載イメージセンサとその応用
2022/9/1-3	第53回ガラス部会夏季若手セミナー	日本セラミックス協会ガラス部会	ホテルシーパレスリゾート(愛知県豊橋市)	東京大学	井上博之	回折法を中心としたガラスの構造解析
				日本板硝子㈱	河津光宏	ゾルゲル法によるガラスへの機能性コーティングについて
				名古屋工業大学	大幸裕介	ガラスだからできる・作れるものを探している～今回は燃料電池とイオン銃について～
				大阪公立大学	作田敦	全固体電池のための非晶質材料開発
				北陸先端科学技術大学院大学	上田純平	消光プロセスを利用した長残光蛍光体設計
				産業技術総合研究所	篠崎健二	結晶化ガラスの材料設計
2022/9/2	第388回蛍光体同学会講演会－国際ガラス年記念－	蛍光体同学会	オンライン	産業技術総合研究所	赤井智子	蛍光ガラス材料の現状と今後の展開
				防衛大学校	七井靖	希土類添加ゲルマン酸系ガラス蛍光体の近赤外広帯域発光
				物質・材料研究機構	瀬川浩代	EuドープSi-Al-O-N蛍光ガラスの作製と光学特性
				東北大学	藤本裕	X線・ガンマ線計測を企図した高輝度ガラスシンチレータの研究

2022/9/3-11/7	『北の美のこころ』を携えて／現代ガラスの美	北海道立近代美術館	北海道立近代美術館			
2022/9/6-15	「第5回 北近江サケグラス公募展」	ナガハマグラスフェス実行委員会				
2022/9/14	日本セラミックス協会秋季シンポジウム SDGs セッション －人をつなぐ、知をつなぐ－	日本セラミックス協会	徳島大学＋オンライン	京都大学	田部勢津久	「情報通信技術 ICT を支えるガラス:国際ガラス年 2022 を祝う」
				東京工業大学	矢野 哲司	「高レベル放射性廃棄物固化用ガラス組成および溶融に関する基礎研究」
				滋賀県立大学	松岡純	「ガラス製造の高効率化へ向けた融液物性の評価」
				大阪府立大学	林 晃敏	「全固体電池の実現に貢献するガラス材料の開発」
2022/9/17	2022 青少年のための科学の祭典 東京大会 in小金井 / Web開催 国際ガラス年記念事業	日本セラミックス協会ガラス部会＋ガラス産業連合会	オンライン	東京工業大学	矢野 哲司	サイエンス・ライブショー『ガラスの中の「力」を見る ～強いガラスの不思議～』
2022/9/20	応用物理学会 2022年（令和4年）秋季学術講演会 シンポジウム「最先端で活躍するガラスとガラス状態～2022年国際ガラス年IYOG記念シンポジウム」	応用物理学会	東北大学 川内北キャンパスおよびオンライン	名古屋大物理	宮崎 州正	ガラス転移の理論研究の最近の話題～非線形レオロジーを中心にして～
				東工大IRFI	西森 秀稔	スピングラスから量子アニーリングへ
				D-Wave Systems	Andrew D. King	Quantum critical dynamics in a 5000-qubit programmable spin glass using a D-Wave quantum annealer
				東北大学	中沢 正隆	ガラスが織りなす光ネットワーク －社会課題と今後の展望・期待－
				東工大未来研	雨宮 智宏	フォトニックナノ構造で拓く光学の新しい展開
				名大未来社会	湯川 博	ナノ多孔質ガラスデバイスの開発と超早期がん診断への応用
				理研光量子	杉岡 幸次	レーザーを用いたガラス加工と応用
				横国大	丸尾 昭二	ガラス3Dプリンティングの進展
				東工大元素センター	細野 秀雄	アモルファス酸化物の半導体とその社会実装
2022/9/21	応用物理学会 2022年（令和4年）秋季学術講演会 シンポジウム「ガラス系イオン伝導体の最前線～2022年国際ガラス年IYOG記念シンポジウム」	応用物理学会	東北大学 川内北キャンパスおよびオンライン	大阪公立大	作田 敦	硫化物系ガラス電解質を用いた全固体電池の固体界面形成
				オハラ	小笠 和仁	ガラスを用いた酸化物固体電解質材料開発
				京大高等研究院	堀毛 悟史	金属－有機構造体：MOFのガラス相を用いたイオニクス機能
				山形大	松嶋 雄太	ヨウ化銀と銀のオキソ酸塩からなる化合物の室温超イオン伝導性
				物材機構GREEN	館山 佳尚	第一原理計算による全固体電池固体電解質のイオン伝導解析
				AGC（株）	浦田 新吾	分子シミュレーションによるリチウムボロシリケートガラスのモデリング
				高輝度セ	尾原 幸治	硫化物ガラスの分子振動に基づくイオン輸送解明
				北大院工	忠永 清治	液相法による硫化物系固体電解質の合成と全固体リチウム電池への応用
2022/9/30	日本学術会議 国際ガラス年2022記念シンポジウム	日本学術会議化学委員会 無機化学分科会，材料化学分科会，国際ガラス年日本実行委員会	日本学術会議講堂	日本電気硝子株式会社	有岡 雅行	基調講演「人類の進歩とガラス」～自然は黒曜石を作り、人はガラスを作った～
				東北大学	中沢 正隆	「 ガラスが織りなす光ネットワーク 」
				AGC（株）	小池 章夫	「 現代生活を支える身の回りのガラス材料 」
				京都大学	田部 勢津久	国際ガラス年 2022 国連採択の経緯
				大阪公立大	林 晃敏	次世代全固体電池を支えるガラス
				フランス CNRS, ボルドー大学	小田 玲子	分子集合から作るナノサイズのらせん状ガラス
2022/10/8-11/6	ナガハマグラスフェス2022	ナガハマグラスフェス実行委員会	慶雲館・黒壁スクエア・中心市街地一帯			
2022/10/10-11/20	企画陳列「地中から見つかった輝き ガラス展Vol. 3 瓶」	京都市考古資料館	京都市考古資料館１階 エントランス			
2022/10/13-14, 27-28	ニューガラスフォーラム・2022年度 ニューガラス大学院	(一社)ニューガラスフォーラム	AGCものづくり研修センター ４F会議室＋ Web			
2022/10/13-25	国際ガラス展・金沢2022	国際ガラス展・金沢開催委員会	石川県政記念 しいのき迎賓館			
2022/10/15-22	第33回 新島国際ガラスアートフェスティバル	フェステバル実行委員会	新島ガラスアートセンター／新島村21クリエイトセンター（Web開催）			
2022/10/19	第147回若手懇談会「IYOG2022国際ガラス年特別講演会」 ～異業種・異分野から見たガラスの可能性－ガラスを用いた次世代材料と製品－～	(一社)ニューガラスフォーラム	オンライン	株式会社オハラ	小笠 和仁	ガラスを用いた全固体二次電池向け固体電解質の開発
				日本電信電話株式会社	橋本 俊和	可視光向け平面光波回路技術とそれを用いた小型RGB光源向け波長合波回路
				ヤマハ発動機株式会社	近藤 拓	GFRPに求められるガラス繊維の役割と性能

2022/10/20	第4回 放射性廃棄物固化体討論会	日本セラミックス協会ガラス部会放射性廃棄物分科会	青森県観光物産館アスパム会議室（青森県青森市，JR青森駅近く）およびオンライン	滋賀県立大学	山本 茂	ホウケイ酸ガラスの化学的耐久性と組成設計
2022/10/22	今日は古代エジプトDay！「古代エジプトの神秘の「青」を作ろう」のファイアンス制作体験	東海大学山花教授	東海大学湘南校舎			
2022/10/28	2022年度第２回ガラス科学技術・評価技術合同研究会「過去から未来へ ～光学ガラスの発展と最新技術の展開～」	ニューガラスフォーラム	オンライン	株式会社オハラ	上原 進	光学硝子工業の歴史とその進展
				九州大学グローバルイノベーションセンター	藤野 茂	3D光造形技術による多様な形状を有する機能性透明シリカガラスの開発
				東京農工大学大学院	高木 康博	未来のディスプレイ技術～人体に近づく３D表示、ホログラムコンタクトレンズ～
2022/11/3-2023/1/29	フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン	富山市ガラス美術館	富山市ガラス美術館			
2022/11/5-6	親子でガラスづくり体験教室	鈴鹿工業高等専門学校和田教授	鈴鹿工業高等専門学校　材料工学科棟			
2022/11/21	第44回バイオマテリアル学会大会 International Year of Glass 2022, Commemorative Symposium "Biomaterials and Glass Science"	日本バイオマリアル学会	タワーホール船堀	名古屋工業大学	春日 敏宏	治療効果を高めるための生体用ガラス材料の設計
				東京医科歯科大	宇尾 基弘	審美歯科治療に寄与するガラス材料
				産業技術総合研究所	王 秀鵬	Tailoring Composition and Structure of Inorganic Nanoparticles for Cancer Immunotherapy
				産業技術総合研究所	李 誠鎬	骨芽細胞活性化無機イオン溶出型リン酸塩ガラス系材料の開発
2022/11/28	国際ガラス年２０２２建築ガラス記念講演会	板硝子協会	ベルサール三田＋オンライン	東京大学	清家剛	ガラスのリサイクル－EUの事例から日本の今後を考える－
				京都大学	丸山敬	ガラスの強風被害とその対策
				九州大学	井上朝雄	建築とガラス
				桜設計集団一級建築士事務所	安井昇	木とガラスのコラボレーション
2022/12/6-7	第63回ガラスおよびフォトニクス材料討論会 特別共催企画：第18回ガラス技術シンポジウム(GIC18)	日本セラミックス協会ガラス部会	東京たま未来メッセ	AGC株式会社	吉田智	ポスト国際ガラス年の展望　～私たちが得たもの～
				北海道大学	小野 円佳	令和四年度学習資料「一家に1枚 ガラス ～ 人類と歩んできた万能材料」の企画・製作とその展開
				京都大学	清水 雅弘	国際ガラス年2022：ガラスの無い世界ある世界 静止画および動画コンテストの経緯と結果の報告
				富山高等専門学校	袋布 昌幹	次世代に対するガラスへの誘い：全国ガラス体験実験を通して
2022/12/8-9	十人十色・ガラス展	イートーテン	東京大学 安田講堂			
2022/12/8-9	国際ガラス年2022　CLOSING CONFERENCE	国際ガラス年日本実行委員会	東京大学 安田講堂＋オンライン	基調講演2件 招待講演28件 （別紙：登壇者リスト）		
2022/12/24	アンデス先史文明の謎のガラス??"アンデス玉"を再現しよう!!	東海大学秋山教授、山花教授	東海大学湘南校舎			

国際ガラス年２０２２オープニングセレモニー・講演会　　登壇者リスト

ご挨拶（登壇順）：

１．国際ガラス年日本実行委員会委員長　　田部勢津久
２．日本セラミックス協会会長　　黒田一幸
３．北米国際ガラス年実行委員会　Chair　　Dr. M. Choudhary
４．ICG（Intl. Comm. Glass）元会長・京都大学名誉教授 曽我直弘
５．国際ガラス年実行委員長・前ICG会長　　Dr. Alicia Duran
６．日本セラミックス協会ガラス部会長　　矢野哲司

招待講演（講演順）：

１．「ガラスの概論」
　　国際ガラス年日本実行委員会副委員長　　東京大学　　井上博之
２．「現代生活を支える身の回りのガラス」　　AGC株式会社　小池章夫
３．「建築材料としてのガラス」　　九州大学　　井上朝雄
４．「日本の現代ガラス：ガラスの造形分野におけるこれまでの歴史」
　　富山市ガラス美術館　　畠山耕造
５．「ガラスびんSDGsの取組みについて」
　　日本ガラスびん協会SDGs推進WG・日本山村硝子株式会社 辻　良太
６．「パラオ共和国 ベラウ・エコ・グラスセンターにおける資源循環型社会への取り組みと観光産業の推進」　　三田市ガラス工芸館
７．「ICGサマースクール（オンライン）参加報告」
　　東京工業大学大学院・博士課程　富田夏奈

事務局より：

国際ガラス年2022イベントの紹介　　国際ガラス年実行委員会事務局長　吉田智

国際ガラス年 2022 Closing Conference（国際閉会式） 登壇者リスト

ご挨拶 （ご登壇順）

１．国際ガラス年日本実行委員会委員長　田部勢津久 教授
２．文部科学省大臣官房審議官（研究振興局及び高等教育政策連携担当）木村 直人 様
３．経済産業省大臣官房審議官　恒藤 晃 様
４．国際ガラス委員会（ICG）会長　Reinhard Conradt 教授
５．国際博物館協会（ICOM Glass）会長　Teresa Medici 氏
６．英国ガラス技術協会（SGT）会長　Arun Varshneya 教授

Moderators

・セッション５担当　Teresa Medici 氏 （再掲）
・IYOG 実行委員会委員（音楽イベント担当）藤野 茂 九州大学教授
・セッション１担当　Jincheng Du 米国ノーステキサス大学教授
・セッション２担当　Lothar Wondraczek 独国イエナ大学教授
・セッション２担当（IYOG 閉会式担当）　忠永 清治 北海道大学教授
・セッション３担当　小幡 亜希子 名古屋工業大学准教授
・セッション４担当　前原 輝敬 AGC 株式会社

企業・大学からの招待講演

・ＡＧＣ株式会社 代表取締役兼 社長執行役員　平井 良典 氏
・日本電気硝子株式会社 代表取締役社長　松本 元春 氏
・日本板硝子株式会社 最高技術責任者　Michael Greenall 氏
・コーニングインターナショナル株式会社 代表取締役社長　仲野 泰也 氏
・韓国 Korea Aerospace University　Yong Gyu Choi 教授

基調講演

・IYOG 国際委員会委員長（前 ICG 会長）　Alicia Durán 教授 (スペイン CSIC)
・北米 IYOG 委員会委員長（オハイオ州立大教授）　Manoj Choudhary 教授 **オンライン**

招待講演

・米国コーニング美術館 館長　Karol Wight 氏
・富山市ガラス美術館館長　土田 ルリ子 氏
・ジョルジオ チーネ財団　Marzia Scalon 氏

・米国 レンセラー工科大学　Liping Huang 教授
・フランス CNRS　Daniel Neuville 博士
・米国ノーステキサス大学　Jincheng Du 教授（再掲）

・フランス CEA　Cindy Rountree 博士
・中国 浙江大学　Jianrong Qiu 教授　**オンライン**
・Electric Glass Fiber America, LLC　Hong Li 博士
・独国イエナ大学　Lothar Wondraczek 教授 （再掲）

・独国 イエナ大学　Delia Brauer 教授　**オンライン**
・フランス Noraker 社　Céline Saint Olive Baque 氏

・オランダ Celsian 社（Glass trend）　Oscar Verheijen 博士
・トルコ Şişecam 社　Tolga Uysal 博士　**オンライン**
・英国 Krysteline Technologies Ltd 社 CEO　Steve Whettingsteel 氏

若手招待講演
・奈良文化財研究所 主任研究員　田村 朋美 氏
・ガラス造形作家　Zuzana Kubelková 氏
・イタリア モデナ大学　Federica Lodesani 氏
・東北大学　Takuma Nakamura 氏
・米国ペンシルバニア州立大学　Katelyn Kirchner 氏
・トルコ Şişecam 社　Gülin Demirok 氏
・韓国 Seoul National University Hospital　Justin Chung 氏
・AGC 株式会社　兵頭 俊太郎 氏

音楽イベント
・ギタリスト　Joshua Breakstone 氏
・ギタリスト　Satoshi Inoue 氏

以上

4-2. 文部科学省科学技術週間　学習資料「一家に１枚」

文部科学省では、毎年 4 月に科学技術週間を設定し、科学技術に関わる一つのテーマについて一般国民の関心を高めるための活動をしている。国際ガラス年日本実行委員会内ガラスマップ分科会では、2021 年6月に 2022 年の科学技術週間のテーマを「ガラス」とする企画書を作成・提出し、高い倍率の選考を勝ち抜いて採択に至り、国際ガラス年である 2022 年の文部科学省科学技術週間の学習資料「一家に 1 枚」は「ガラス　人類とともに歩んできた万能材料」と決定られた。

2022 年 4 月以降、学校や科学館などに約 30 万枚のポスター（ガラスマップ（下図））が配布され、2022 年の科学技術週間中（4/18～4/24）においては、NIMS 一般公開（2022.4.24）における国際ガラス年関連展示や、自民党本部におけるガラスマップの紹介、京都大学公開講座、オンラインによる「一家に 1 枚」発行記念講演会の事業を行った。NIMS 一般公開では、ガラス産業連合会（GIC）IYOG 支援 WG のご尽力により、板ガラスの破壊体験コーナーやガラスメーカーの製品・技術紹介などを行い、当日は IYOG 以外の体験教室を含めて 326 名の来場者があり、当日配信した動画には、のべ 3 万人を超える視聴者があった。

ガラスマップ分科会では、「一家に 1 枚」特設ウエブサイト https://glass-poster.iyog2022.jp/ 、解説動画（ショートバージョン：https://youtu.be/fSUDmuboOzs 、ロングバージョン：https://youtu.be/ZkrwjjI2ldA）も併せて作成し、現在公開されている。さらに、ガラスマップの外国語版にも取り組んでおり、英語版、ポルトガル語版をこれまで公開し、その他の言語への翻訳も鋭意進めている。

4-3. 出版

国際ガラス年 2022 を記念した各種出版物は以下の通りである。

■日本セラミックス協会　セラミックス誌　（2022 年 3 月）

■日本化学会　化学と工業誌　（2022 年 5 月）

■日本セラミックス協会　学術論文誌　特集号　（2022 年 8 月）

■日本放射光学会　放射光誌　（2022 年 9 月）

■日本表面真空学会　表面と真空誌　10 月号

■朝日新聞社「中高生のための朝日 SDGs ジャーナル」

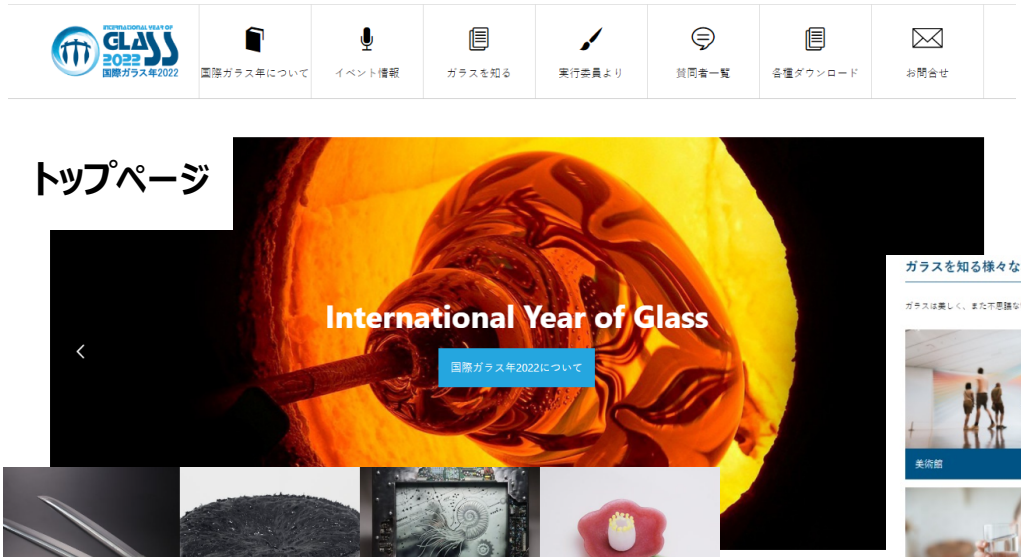
■ニューガラス誌　11 月号

■政府広報オンライン「Highlighting Japan」11 月号

■色材協会誌　特集号　12 月号

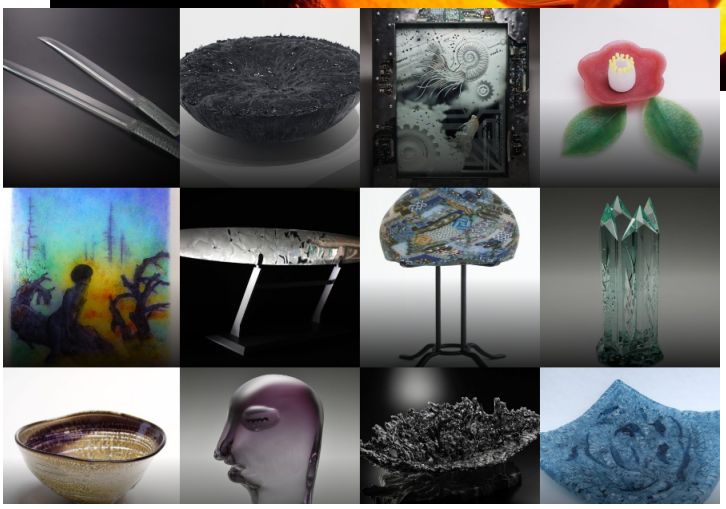
4-3. ホームページ

2022 年 1 月に新デザインのホームページを開設して以来、訪問ユーザー数は 4 万件（Google アナリティカル）を超えている。各種イベントの紹介や実行委員によるイベント参加の Blog だけでなく、国内外のガラス関連美術館マップや、ガラス造形作家 178 名の作品紹介、ガラスの製造方法やサイエンスを知ってもらうページなどを作成し、今後も役立つサイトになっている。



トップページ

「ガラスを知る」



ガラスギャラリー

バーチャル工場見学
（科学技術振興機構　ご提供）

5. 国際ガラス年日本実行委員会 収支報告

1．収入の部

費目	内訳	金額
自己資金	（公社）日本セラミックス協会国際交流準備資金より	5,144,115
企業協賛金	Platinum（150万円）×3 Gold（50万円）×6 Silver（30万円）×9 Bronze（20万円）×10 HP広告（10万円）×5	12,699,400
団体等助成金	一般財団法人生産技術研究奨励会 120万円 公益財団法人 日本板硝子材料工学助成会 30万円 国際ガラス年国際実行委員会 イベント助成 6,500 ユーロ	2,431,840
国際閉会式参加費	参加者数258名（課金登録者130名）	1,105,125
国際閉会式バンケット参加費	課金参加者26名	208,000
銀行利息		122
	計	**21,588,602**

2．支出の部

イベント	費目	内訳	金額
日本オープニングセレモニー（2022.1.28）	セレモニー開催関連費用	講師謝金、Zoom登録費、事務費など	150,140
一家に1枚ガラスマップ	ガラスマップ作成関連費用	写真購入費用等	375,349
NIMS一般公開	イベント開催費用	アルバイト費	70,000
セラミックス誌（2022.3月号）	特集号関連費用	オープンアクセス費および謝金	154,231
JCERS誌（2022.8月号）	特集号関連費用	論文投稿費	1,006,500
静止画および動画コンテスト	コンテスト実施関連費用	ポスター、チラシ印刷費、閉会式ディスプレイ費、賞金など	1,140,890
全国高専グラスフェス	フェスティバル実施経費	謝金、事務費、TA費など	147,421
応用物理学会秋季シンポジウム（2件：固体イオニクス、非晶質）	謝金、スポンサーシップ	謝金（5名+9名）、スポンサーシップ（非晶質イベント）	416,898
青少年科学の祭典東京大会	イベント開催費用	教材費、資材輸送費など	91,610
ナガハマグラスフェス	イベント開催費用		110,000
東海大イベント2件	イベント開催費用	事務費、アルバイト費など	177,910
国際閉会式イートーテン造形展覧会	展覧会実施費用	事務費、冊子印刷費、作品レンタル代など	2,336,121
国際閉会式音楽イベント	イベント実施費用	謝金、ピック製作費など	182,974
国際閉会式	イベント実施費用	ハイブリッド開催費 1,031,124円 会場費 1,929,565円 印刷費 265,000円 謝金、交通費、宿泊費等 5,352,980円 事務費 294,127円 バンケット費 1,029,380円 など	10,351,658
	事務局運営費	会議費、人件費、通信費、交通費、謝金、振込手数料など	2,127,745
	広報宣伝費	ホームページ管理費、レンタルサーバー費、印刷費など	2,749,155
		計	**21,588,602**

6.　国際ガラス年日本実行委員会
主催事業　事業報告および収支報告

6-1. 国際ガラス年 2022 日本オープニングセレモニー

事 業 名	国際ガラス年２０２２　日本オープニングセレモニー（オンライン）
開 催 日 時	令和　４年　１月　２８日（金）13:30 ～ 17:30
開 催 場 所	オンライン（Zoom webinar）
主 催	国際ガラス年日本実行委員会
協 賛	日本ガラス工芸学会、日本ガラス工芸協会、ガラス産業連合会（および所属各団体）、日本化学会、日本物理学会、日本応用物理学会
後 援	文部科学省、経済産業省
参加費	無料
参加人数	６６５　名
収支	収支報告書参照

事業の内容報告

「国際ガラス年2022」を記念する独自企画として「国際ガラス年2022　日本オープニングセレモニー（オンライン）」を主催し実施した。当日の参加者は665名であった。本セレモニーを通して、我が国における国際ガラス年幕開けの宣言と、ガラスという素材の魅力の共有という目的を達成することができたと考える。また、文部科学省と経済産業省よりご承認いただいた後援名義は、国際ガラス年日本実行委員会（以下、実行委員会）のホームページならびに情宣用ポスター内で使用し、後者については、関係各所宛メールに添付することで配布した。以下に、本セレモニーの内容を説明する。

当日は、実行委員会の田部委員長より国際ガラス年採択までの経緯について説明した後、日本セラミックス協会の黒田会長から、国際ガラス年への期待を込めたご挨拶があった。その後、国際ガラス委員会前々会長の Choudhary 博士と、同委員会元会長の京都大学 曽我名誉教授よりご祝辞をいただいた。Choudhary 博士は、深夜にもかかわらず米国からライブでご参加いただいた。挨拶と祝辞の後、実行委員会事務局より、実行委員会で今後計画しているイベントについて紹介するとともに、実行委員会の活動に対して協賛金をいただいた23社へ感謝を伝え、更なる協力依頼を行った。

講演会の部では、ガラスの科学、産業、建築、造形等の分野から6件の講演と、大学院に在籍する学生さんによる発表があった。既存の学会や展覧会などにはない分野の垣根を越えた講演会となり、新しいネットワークの構築を予感するセレモニーとなった。（次々ページ： 最終プログラム）

講演では、5000 年前とも言われる人類とガラスの出会いに始まり、どのように私たちがガラスに魅了され、ガラス製品を造り上げる技術を獲得したのかについて、一般の方にも分かり易く伝えていただいた。さらに、5G、IOT、そして SDGs という社会の要求にガラスがどのように応えているかを知り、今後ガラスが人類をどのように支えていくのかを参加者が共に考えることができる講演会であった。特に、東京工

業大学大学院の富田夏奈さんの発表では、コロナ禍の厳しい状況の中、ガラス科学の研究に取り組まれる様子が紹介され、ガラスに関わる多くの組織や人が若者を支え育てていく想いが高まったことと思われる。

講演会の後に、国際ガラス委員会前会長の Duran 教授にスペインからライブでご登壇いただき、ご挨拶を頂戴した。新旧会長が旧交を温める和やかなシーンもあった。セレモニーの最後には、日本セラミックス協会ガラス部会長の矢野教授よりご挨拶をいただき、大きなトラブルもなく盛会のうちにセレモニーを終えることができた。

400名を超える参加者が、最後のご挨拶まで参加されており、参加者の興味と期待を引き付けることができたセレモニーだったと思う。このようなイベントを重ねていく中で、ガラス産業及び社会の更なる発展に寄与するための新しいネットワークを構築できると確信した。

座長を含めた登壇者には、Duran 前国際ガラス委員会々長を含めて5名の女性が含まれていたことを書き添える。以下の写真は、セレモニーの最後に撮影した登壇者の集合写真である。

以上

国際ガラス年２０２２オープニングセレモニー・講演会
「～ガラスの歴史と未来を祝福する～」

日 時：２０２２年1月２８日（金）13：30～17：30
場 所：オンライン（Zoom Webinarを使用）
プログラム（敬称略）：

座長：忠永清治（北海道大学）
13:00開場　（Worldwide presentation of the United Nations International Year of Glass 2022（日本語字幕入））の一部を上映予定）
13:30～13:50　開会の挨拶とこれまでの経緯について
国際ガラス年日本実行委員会委員長・京都大学　田部勢津久
13:50～14:10　挨拶・祝辞（各5分以内）
・日本セラミックス協会会長　黒田一幸
・北米国際ガラス年実行委員会　Chair　Dr. M. Choudhary
・ICG元会長・京都大学名誉教授　曽我直弘
14:10～14:20　国際ガラス年2022イベントの紹介
AGC・国際ガラス年実行委員会事務局長・吉田　智
14:20～14:30　休憩
座長：小野円佳（北海道大学・AGC）
14:30～14:50　ガラスの概論
国際ガラス年日本実行委員会副委員長・東京大学　井上博之
14:50～15:20　現代生活を支える身の回りのガラス
AGC株式会社　小池章夫
15:20～15:25　休憩
座長：吉田　智（AGC・国際ガラス年実行委員会事務局長）
15:25～15:55　建築材料としてのガラス
九州大学　井上朝雄
座長：山崎　博樹（日本電気硝子・国際ガラス年実行委員会造形造形関連分科会）
15:55～16:25　日本の現代ガラス：ガラスの造形分野におけるこれまでの歴史
富山市ガラス美術館 畠山耕造
16:25～16:30　休憩
座長：前田　敬（東京理科大学・国際ガラス年実行委員会・広報分科会長）
16:30～17:00　ガラスびんSDGsの取組みについて
日本ガラスびん協会SDGs推進WG・日本山村硝子株式会社　辻　良太
座長：忠永清治（北海道大学）
17:00～17:15　パラオ共和国 ベラウ・エコ・グラスセンターにおける資源循環型社会への取り組みと観光産業の推進　三田市ガラス工芸館
17:15～17:20　ICGサマースクール（オンライン）参加報告
東京工業大学大学院・博士課程　富田夏奈
17:20～17:25　挨拶　国際ガラス年実行委員長・前ICG会長　Dr. Alicia Duran
17:25～17:30　閉会の挨拶　ガラス部会長・東京工業大学　矢野哲司
17:30　閉会

収 支 報 告 書 （日本オープニングセレモニー）

1．収入の部

費目	内訳	金額
自己資金	（公社）日本セラミックス協会国際交流準備資金より	150,140
	計	**150,140**

2．支出の部

費目	内訳	金額
講演謝金	22,046円×3　源泉税込み	66,138
Zoom webinar運営費	参加者数最大1,000名の1カ月契約	52,470
事務局運営費	交通費、振込手数料など	31,532
	計	**150,140**

以上

6-2. 国際ガラス年 2022「ガラスの無い世界･ある世界」静止画および動画コンテスト

事 業 名	国際ガラス年２０２２「ガラスの無い世界・ある世界」静止画および動画コンテストならびに同コンテストにおける文部科学大臣賞の交付
募集期間と表彰式日時	募集期間： 令和４年６月１日（水）～８月３１日（水） 表彰式： 令和４年１２月９日（金）18:45～19:00
表彰式開催場所	東京大学安田講堂 （東京都文京区本郷 7 丁目）＋ Zoom webinar
主 催	国際ガラス年日本実行委員会
後 援	文部科学省
応募作品数	動画 30 件、静止画 248 件
収支	収支報告書参照

事業の内容報告

本コンテストは、文部科学省の後援をいただき、6 月 1 日～8 月 31 日の期間に作品募集を行った。作品の応募数は動画 30 件、静止画 248 件であった。当実行委員会内に設けた審査委員会において、10 名の審査員による一次審査を経て動画 7 件、静止画 9 件を選出した。その後二次審査により、動画部門、静止画部門のそれぞれについて、最優秀作品 1 件、優秀作品 4 件を決定した。二次審査では、構成力･表現力（5 点）、デザイン力 （5 点）、独創性（5 点）の各項目について 11 名の審査員が 15 点満点で採点した。二次審査において最高得点を得た静止画部門の最優秀作品を、文部科学大臣賞の受賞作品として決定した。入賞作品は、以下の通りで、当実行委員会のホームページでも公開している。

https://iyog2022.jp/contest_results/

入賞作品：静止画部門

文部科学大臣賞(静止画部門最優秀作品) 小平 杏子 「ガラスのコップで乾杯しよう」

（文部科学大臣賞受賞作品は次ページにも掲載）

優秀賞 川合 久司 「三枚の絵」

優秀賞 八木 英雄 「こんにちは！」

優秀賞 藤居 すみれ 「身支度は万全？」

優秀賞 三城 由脩 「ガラスと人類」

入賞作品：動画部門

最優秀賞 奥 睦志 「涼のある世界」

優秀賞 曲線リニア(チーム代表者：ヒサこし 布陣) 「Vividness」

優秀賞 細田 祐美子 「with」

優秀賞 崎村 宙央 「NO GLASS, NO WORLD!」

優秀賞 長谷川 徳子 「Glass makes the place of prayer better…」

表彰式は、東京大学安田講堂で開催された国際閉会式の 2 日目（12/9）に 6 名の受賞者に出席頂き開催した。なお，国際閉会式の期間中，安田講堂内のコーヒーブレイク会場に設置したディスプレイで受賞作品を放映し，海外から参加された皆様にも作品を紹介する機会とした。

東京大学安田講堂での表彰式の様子

文部科学大臣賞(静止画部門最優秀作品)　小平　杏子　「ガラスのコップで乾杯しよう」

収　支　報　告　書　（ガラスの無い世界ある世界　静止画および動画コンテスト）

1．収入の部

費目	内訳	金額
自己資金	（公社）日本セラミックス協会国際交流準備資金より	1,140,890
	計	**1,140,890**

2．支出の部

費目	内訳	金額
コンテスト運営事務費	ポスター、チラシ印刷費、郵送費など	422,400
コンテスト表彰式会場費	ディスプレイレンタル費など	132,550
賞金	交通費補助を含む	585,940
	計	**1,140,890**

6-3. 国際ガラス年 2022 国際閉会式

事 業 名	国際ガラス年２０２２　国際閉会式
開 催 日 時	令和４年１２月８日（金）9:30～18:20 、9 日（土）9:00～19:00
開 催 場 所	東京大学安田講堂　（東京都文京区本郷 7 丁目）＋ Zoom webinar
主 催	国際ガラス年日本実行委員会
後 援	文部科学省、経済産業省、外務省
参加費	一般 10,000 円、学生 5,000 円（現地、オンラインとも）
参加人数	２５８　名（うちオンライン参加者６８名）
収支	収支報告書参照

事業の内容報告

令和4年12月8～9日に、国際ガラス年2022国際閉会式（クロージング・カンファレンス）」を主催し実施した。2日間の参加者は258名（うちオンライン参加者68名）であった。この閉会式を成功裏に終えることで、国内外で行われた国際ガラス年の様々な活動を総括するとともに、産業と学術、科学とアートの垣根を超えたガラスに関わる新しいネットワークを構築することを内外に宣言するという目的を達成することができたと考える。文部科学省、経済産業省、外務省より使用許可いただいた後援名義は、主催団体（国際ガラス年日本実行委員会、以下、実行委員会と略す）のホームページ（https://iyog2022.jp/）ならびに閉会式パンフレット内で使用した。以下に、本閉会式の概要を報告する。

第 1 日目午前中のセレモニーでは、実行委員会の田部委員長より来賓の皆様への歓迎の言葉と国際ガラス年採択までの経緯ならびに各国で開催されたイベントについて紹介があった。その後、文部科学省大臣官房審議官　木村直人様、経済産業省大臣官房審議官　恒藤晃様よりご祝辞を賜り、続いて国際ガラス委員会（ICG）会長　Reinhard Conradt　教授、国際博物館協会（ICOM Glass）会長　Teresa Medici 博士、英国ガラス技術協会（SGT）会長 Arun Varshneya 教授より現地でご挨拶をいただいた。ご挨拶に続いて2件の基調講演があった。現地にてIYOG国際委員会委員長（前ICG会長）Alicia Durán 教授 (スペイン CSIC)が「Welcome to the Glass Age」の題目で、人類の発展に今後も欠かすことのできないガラスの魅力を熱い言葉と共に紹介され、その後オンラインで北米 IYOG 委員会委員長（オハイオ州立大教授）Manoj Choudhary 教授が「Glass: Indispensable Material for Sustainable Development」の題目で、ガラスという素材がいかに SDGs に貢献できるか、環境やエネルギーと親和性が高いかについてについて分かり易く説明いただいた。その後の1日半の会議では、以下の 5 つのセッションについて、その分野のエキスパートや若手研究者、若手造形作家など23名から講演があった。当日のプログラムは次々ページに示した。

セッション1：　先進シミュレーションと特性評価から見たガラス構造

セッション2：　ガラスの評価と応用

セッション3： バイオメディカルガラス

セッション4： 持続可能性あるガラス製造

セッション5： ガラス造形とガラス美術館

上記セッション以外にも、日本のガラス産業界から、AGC株式会社　代表取締役兼社長執行役員の平井良典氏、日本電気硝子株式会社 代表取締役社長の松本元春氏、日本板硝子株式会社 最高技術責任者の Michael Greenall 氏、コーニングインターナショナル株式会社　代表取締役社長の仲野泰也氏より、トップの視点でガラス産業界の取り組みについて講演いただいた。併せて隣国韓国より、Korea Aerospace University の Yong Gyu Choi 教授からカルコゲナイドガラスの特性と応用についての講演があった。

講演以外にも、両日ともに安田講堂内の回廊ではガラス造形作品展覧会が開催され、また第1日目の午後には九州大学藤野教授の開発した石英ガラス製のギターピックを用いたギター演奏会、第2日目朝には、国際ガラス年国際委員会の企画により募集・選考された「世界の 7 大ガラス」の発表がありました。さらに、第2日目のクロージングセレモニーでは、当実行委員会の企画である「ガラスの無い世界ある世界　静止画および動画コンテスト」の表彰式も開催され、美しく厳かな東京大学安田講堂において、国際ガラス年のイベントを締めくくるにふさわしい国際閉会式となった。なお、招待講演者および座長の性別内訳は、女性14名、男性22名であった。

以上

講演中の安田講堂内の様子

国際ガラス年 2022 国際閉会式　写真など

東京大学安田講堂　入口

日本実行委員会　田部委員長

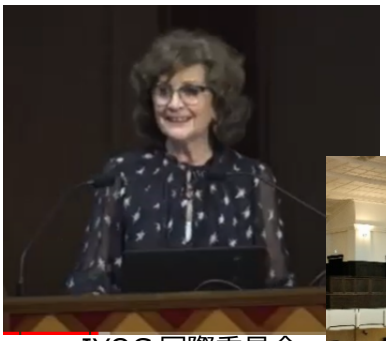
文部科学省　木村審議官

経済産業省　恒藤審議官

国際ガラス委員会（ICG）Conradt 会長

国際博物館協会（ICOM Glass）Medici 会長

英国ガラス技術協会（SGT）Varshneya 会長

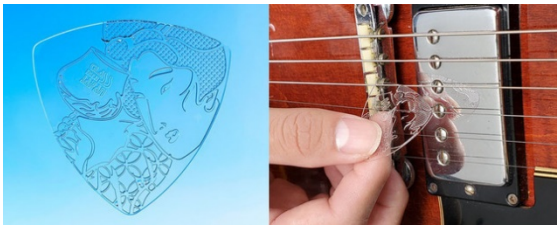


IYOG 国際委員会
Durán 委員長

Durán 委員長講演

北米 IYOG 委員会
Choudhary 委員長

国際閉会式　井上議長

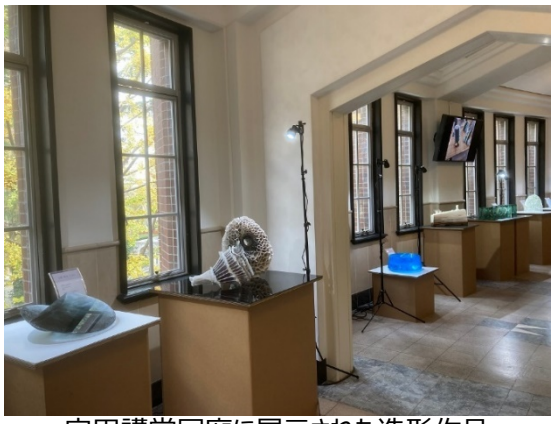


音楽イベントで使われたシリカガラスピック

Joshua Breakstone 氏 と Satoshi Inoue 氏

国際閉会式パンフレット表紙

ガラス造形展覧会パンフレット表紙



安田講堂回廊に展示された造形作品

安田講堂回廊に展示された造形作品

International Year of Glass 2022 (IYOG2022) Closing Conference Program

Thursday, Dec. 8, 2022

8:30 Open Venue
Registration

9:30 **Opening ceremony**
Welcome Address /
Setsuhisa Tanabe (Chair of Jpn. executive Committee for IYOG)
Congtratulatory messages /
Naohito Kimura (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan)
Akira Tsuneto (Ministry of Economy, Trade and Industry, Japan)
Reinhald Conradt (President of ICG)
Teresa Madici (Chair of ICOM Glass)
Arun Varshneya (President of SGT)

10:30 Coffee break

10:50 **Plenary lecture / Alicia Duran** (Consejo Superior de Investigaciones Científicas)

11:30 **Plenary lecture / Manoj Choudhary** (The Ohio State University) on-line

12:00 Lunch break

13:20 **Invited talk / Yoshinori Hirai** (AGC Inc.)

13:50 break

13:55 **Session 5: Glass Art & Museum**
Moderator: Teresa Medici

14:00 **Karol Wight** (the Corning Museum of Glass)

14:25 **Ruriko Tsuchida** (Toyama Glass Art Museum)

14:50 break

14:55 **Marzia Scalon** (Fondazione Giorgio Cini)

15:20 Future Generation **Tomomi Tamura** (Nara National Institute for Cultural Properties)

15:35 Future Generation **Zuzana Kubelková** (glass artist)

15:50 Coffee break

16:05 **Special Music Concert "Glassy Sound"**
Moderator: Shigeru Fujino (Kyushu university)
Joshua Breakstone(guitar) and Satoshi Inoue(guitar)

16:35 break

16:40 **Session 1: Glass structure from advanced simulation and characterization**
Moderator: Jincheng Du

16:45 **Liping Huang** (Rensselaer Polytechnic Institute)

17:10 **Daniel Neuville** (University of Paris)

17:35 break

17:40 **Jincheng Du** (University of North Texas)

18:05 Future Generation **Federica Lodesani** (University of Modena and Reggio Emilia)

18:20 End of day 1

Friday, Dec. 9, 2022

9:00 **Award Ceremony of Seven Glass Wonders**
9:20 **Session 2: Characterisation & Application**
Moderator: Lothar Wondraczek
9:25 **Cindy Rountree** (Le Centre CEA de Saclay)
9:50 **Jianrong Qiu** (Zhejiang University) online
10:15 Future Generation **Takuma Nakamura** (Tohoku University)
10:30 break
Moderator: Mathieu Hubert (Corning Inc.) & Kiyoharu Tadanaga(Hokkaido University)
10:35 **Hong Li** (Electric Glass Fiber America, LLC)
11:00 **Lothar Wondraczek** (University of Jena)
11:25 break
11:30 Future Generation **Katelyn Kirchner** (The Pennsylvania State University)
11:45 Future Generation **Gülin Demirok** (Şişecam)
12:00 Lunch break
13:00 **Invited talk / Motoharu Matsumoto** (Nippon Electric Glass Co., Ltd.)
13:30 **Invited talk / Yong Gyu Choi** (Korea Aerospace University)
14:00 break
14:05 **Invited talk / Michael Greenall** (NSG Group)
14:35 **Invited talk / Yasuya Nakano** (Corning International)
15:05 break
15:25 **Session 3: Biomedical Glasses**
Moderator: Akiko Obata (Nagoya Institute of Technology)
15:30 **Delia Brauer** (University of Jena) on-line
15:55 **Céline Saint Olive Baque** (NORAKER)
16:20 break
16:25 Future Generation **Justin Chung** (Seoul National University Hospital)
16:40 Coffee break
17:00 **Session 4: Sustainable Glass Production**
Moderator: Terutaka Maehara (AGC Inc.)
17:05 **Oscar Verheijen** (Glass Trend)
17:30 **Tolga Uysal** (Şişecam) on-line
17:55 break
18:00 **Steve Whettingsteel** (Krysteline Technologies Ltd)
18:25 Future Generation **Shuntaro Hyodo** (AGC Inc.)
18:40 break
18:45 Closing ceremony
19:00 End of Day 2

収　支　報　告　書（国際ガラス年クロージング･セレモニー）

1．収入の部

費目	内訳	金額
企業協賛金	Platinum（150万円）×3 Gold（50万円）×6 Silver（30万円）×9 Bronze（20万円）×10 HP広告（10万円）×5 総額12,699,400円より、閉会式運営資金	9,125,788
団体等助成金	一般財団法人生産技術研究奨励会 120万円 公益財団法人 日本板硝子材料工学助成会 30万円 国際ガラス年国際実行委員会　イベント助成 6,500 ユーロ	2,431,840
国際閉会式参加費		1,105,125
国際閉会式バンケット参加費	課金参加者26名	208,000
	計	**12,870,753**

2．支出の部

費目	内訳	金額
国際閉会式イートーテン造形展覧会	事務費、冊子印刷費、作品レンタル代など	2,336,121
国際閉会式音楽イベント	謝金、ピック作製費など	182,974
ハイブリッド開催費	Zoomシステムなど	1,031,124
会場費		1,929,565
印刷費	閉会式パンフレット	265,000
講演謝金、交通費、宿泊費等	源泉税を含む	5,352,980
招待講演者昼食費		210,142
アルバイト費		239,340
事務局運営費		294,127
バンケット費用	於：湯島天満宮参集殿宴会場	1,029,380
	計	**12,870,753**

7.　国際ガラス年日本実行委員会　スポンサー一覧

国際ガラス年 2022 日本実行委員会　スポンサー（34 社）

Platinum（150 万円）

AGC 株式会社　日本板硝子株式会社　日本電気硝子株式会社

Gold（50 万円）

株式会社オハラ　湖北工業株式会社　株式会社ニコン

日東紡績株式会社　国立研究開発法人　物質・材料研究機構

科学研究費補助金・学術変革領域研究「超秩序構造科学」

Silver（30 万円）

ＡＧＣテクノグラス株式会社　岡本硝子株式会社　大商硝子株式会社

ガラス再資源化協議会およびエコプレミアムクラブ　株式会社タナチョー

東洋ガラス株式会社　HARIO 株式会社　日本山村硝子株式会社

松浪硝子工業株式会社

Bronze（20 万円）

井原築炉工業株式会社　株式会社 オハラ・クォーツ

ガラス発泡資材事業協同組合　クアーズテック株式会社

コーニングインターナショナル株式会社　コーニングジャパン株式会社

株式会社住田光学ガラス　セントラル硝子株式会社

東洋佐々木ガラス株式会社　日本精工硝子株式会社　廣田硝子株式会社

HP 広告（10 万円）

株式会社赤川硬質硝子工業所　興亜硝子株式会社　住友電気工業株式会社

東洋ガラス機械株式会社　日本プリント硝子工業会

以上

8.　国際ガラス年 2022　賛同者一覧

国際ガラス年申請時に賛同書を提出頂いた皆様(50 音順)

企業

旭ファイバーグラス株式会社
石塚硝子株式会社
ＡＧＣ株式会社
株式会社　ＡＧＣ総研
ＡＧＣテクノグラス株式会社
岡本硝子株式会社
株式会社　オハラ・クォーツ
クアーズテック株式会社
株式会社　黒壁
興亜硝子株式会社
三和フロスト工業株式会社
ショット日本株式会社
株式会社　住田光学ガラス
関根硝子株式会社
セントラル硝子株式会社
東洋ガラス株式会社
東洋佐々木ガラス株式会社
日本板硝子株式会社
日本電気硝子株式会社
日本無線硝子株式会社
日本山村硝子株式会社
光ガラス株式会社
株式会社　フジクラ
フジトク株式会社
HOYA 株式会社
前田硝子株式会社
松田硝子工芸株式会社
大学・高等専門学校
愛媛大学
大阪府立大学
岡山大学
九州大学
京都工芸繊維大学
京都大学
慶應義塾大学
高知工業高等専門学校
滋賀県立大学
滋賀大学
東京大学
東京工業大学
東京理科大学
東北大学
長岡技術科学大学
名古屋工業大学
弘前大学
三重大学
立命館大学
研究室
大阪府立大学／無機化学研究グループ
関西大学/幸塚研究室
九州大学／藤野研究室
京都大学/田中勝久研究室
京都大学/田部研究室
京都大学/藤田研究室
京都大学/三浦研究室
滋賀大学/徳田研究室
千葉大学/極限環境材料化学研究室
東京大学／井上研究室
東京工業大学／矢野研究室
東京都立大学/梶原研究室
豊橋技術科学大学/松田・武藤・河村研究室
名古屋大学/大槻研究室
弘前大学/増野研究室
北海道大学/西井研究室
北海道大学/無機合成化学研究室

学協会

応用物理学会/フォトニクス分科会
耐火物技術協会
日本ガラス工芸学会
日本ガラス工芸協会
日本セラミックス協会
ニューガラスフォーラム

国立・公設研究機関

イノベーションハブ京都
産業技術総合研究所
兵庫県立工業技術センター

美術館・造形研究所など

E-to-Ten アートグラス制作集団　十人十色

岡山市立オリエント美術館	サントリー美術館	富山ガラス造形研究所
富山市ガラス美術館	北海道立近代美術館	

賛同して頂いた皆様（50 音順）

企業

株式会社赤川硬質硝子工業所	有限会社 市瀬硝子工芸	井原築炉工業株式会社
エコプレミアムクラブ	ＡＧＣテクノグラス株式会社	
エスジーエスエンジニアリング株式会社	株式会社 大久保製壜所	株式会社オハラ
ガラスリソーシング（株）	ガラス再資源化協議会	
キリンテクノシステム株式会社	クリスタルクレイ株式会社	
コーニングジャパン株式会社	コーニングインターナショナル株式会社	湖北工業株式会社
三徳工業株式会社	菅原工芸硝子株式会社	住友電気工業株式会社
大商硝子株式会社	大和特殊硝子株式会社	株式会社タナチョー
株式会社 TGM	東洋ガラス機械株式会社	株式会社ニコン
日東紡績株式会社	日本エア・リキード合同会社	日本精工硝子株式会社
日本耐酸壜工業株式会社	HARIO 株式会社	廣田硝子株式会社
松浪硝子工業株式会社	RGC 株式会社（琉球ガラス村）	

大学・高等専門学校

京都大学/堀毛研究室	京都大学大学院人間・環境学研究科

東海大学古代エジプト及び中近東コレクション

北陸先端科学技術大学院大学　上田研究室

武蔵野美術大学　工芸工業デザイン学科 ガラス研究室

学会および企業団体・協会

板硝子協会	エコプレミアムクラブ	江戸切子協同組合
大阪硝子工業会	ガラス産業連合会	硝子繊維協会
ガラス再資源化協議会	ガラス発泡資材事業協同組合	
ガラスびん 3R 促進協議会	ガラスびんフォーラム	蛍光体同学会
電気硝子工業会	東京硝子製品協同組合	日本硝子製品工業会
日本ガラスびん協会	日本原子力学会	日本光学硝子工業会
日本固体イオニクス学会	日本材料学会	

日本水晶デバイス工業会
日本ゾル-ゲル学会
日本中性子科学会
日本鉄鋼協会
日本プリント硝子工業会
ニューセラミックス懇話会
日本バイオマテリアル学会
日本放射光学会
日本物理学会
日本誘電体学会
粉体工学会
粉体粉末冶金協会
リサイクルガラス造粒砂協会
NPO 法人 ISTA

美術館・ガラス工房・学校・自治体等

秋田市新屋ガラス工房
石川県能登島ガラス美術館
ウッドワン美術館
沖縄県琉球ガラス製造協同組合
北澤美術館
きららガラス未来館
京都市考古資料館
神戸市立博物館
郡山市立美術館
黄金崎クリスタルパーク
三田市ガラス工芸館
山陽小野田市
静岡県賀茂郡西伊豆町
尚古集成館
東京ガラス工芸研究所
東京都庭園美術館
徳島ガラススタジオ
奈良文化財研究所
日本民藝館
箱根ガラスの森美術館
箱根ラリック美術館
平山郁夫シルクロード美術館
ポーラ美術館
町田市立博物館
ヤマザキマザック美術館
妖精の森ガラス美術館

以上